

農業者組織と府幹部職員が 意見交換 経会・法人協・大青協が共催



営農現場における様々な課題について意見交換した

大阪府農
業経営者会
議(稲田元正会長)と大阪府農
業法人協会(藤田善敬会長)は

昨年12月8日、大阪府農協青壮年組織協議会(中筋秀樹委員長)と共催で、大阪市内で府環境農林水産部幹部職員との意見交換会を開いた。

経営者会議役員・法人協会会員、大青協役員の農家19人、府からは塩屋農政室長、溝淵推進課長をはじめ各農と緑の総合事務所農の普及課長ら12人など計52人が出席。

会では、「営農条件にに応じて必要な担い手支援」を協議テーマとして設定し、まず大阪府の担当者が「地域計画の分析結果」について説明した。

府内331地区の地域計画を分析したところ、約1800軒が10年後に担い手不在となる恐れがあり、地域が認識する現状の課題としては、9割以上の地区で担い手の確保が挙げられているほか、農地条件の改善や収益性向上を課題としている地区が多いことを説明。担い手の経営拡大に向けた支援の充実や基盤整備等の強化を図っていくことを述べた。

続く意見交換では、住宅地に囲まれた農地での周辺住民との共存に苦慮している声が多く挙げられた。また、本来公益性があ

るはずの水路について農家だけに管理の負担がかかっていることを懸念する意見も出された。

担い手支援についても、新規就農者の確実なステップアップにつながるよう段階的に支援するとともに、中堅農家の営農継続に向けた支援も必要であるとの指摘があった。

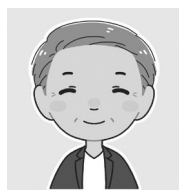
また、補助事業の導入に際しては、都市部に適した評価基準が必要との意見や、規模拡大を前提とした設備導入だけでなく、既存設備の改修にも使える柔軟な支援策を望む声も上がった。

(沼田)

天気のおっちゃんのコラム

気象予報士、元普及指導員

森田 彰朗



第二十二回

「富士山と気象」

新年なので富士山のお話

明けましておめでとうござい
ます。本年も「農業気象コラ
ム」をよろしく願います。
今回は新年ということ、い
つもと趣向を変えて、富士山の
ことをお話しします。

一番早い初日の出を拝める

元日のテレビで、ヘリからの富士山の初日の出を中継していますが、離島以外では、富士山頂が初日の出が日本で一番早い場所とされています。これは、
○同じ経度なら、冬はより南の方が早く日が上る。
○同じ緯度なら、より東で、高

富士山頂に測候所があった

い標高の方が早く日が上る。という原則を元に計算すると、富士山頂の初日の出の時刻が、日本一早くなるそうです。ちなみに離島も入れると、我が国最東端の南鳥島が富士山より早く初日の出を迎えます。

富士山頂には昭和11年から測候所が置かれ、気象観測を行っていました。富士山は独立峰で標高が高いので、上空の風や気温を測定する上で、重要な観測所でした。また、伊勢湾台風による大災害の反省から、台風監視の最前線として、気象レー

ワンポイント農業気象

(1月)

冬型気圧配置による降雪と凍結(特に山間部)

